

全校朝会講話 2020.06.22

皆さんおはようございます。先週の一週間、クラスみんなと一緒に生活することができました。分散登校中会えなかった友達とも会うことができ、うれしい気持ちになった人もいたかと思います。しかし、新しい学校生活の中で、近くによって話すこともできず、マスクを着けたまま休み時間も過ごし、お話をしないで給食を食べるという生活がしばらく続きます。みんなですっかりと安心して生活をするために、がんばってきましょう。

さてここで、子どもはダイヤモンドについてお話をします。2年生から6年生の人はまたかと思うかもしれませんが、1年生には話をしていませんでしたので、もう一度よく聞いてください。ダイヤモンドは、宝石屋さんであって、一番たかく、一番輝いている宝石。もともとダイヤモンドがある場所は、地球の地下深く。ダイヤモンドは、ものすごい重さに耐え、ものすごい力で押さえつけられ、小さく小さく小さくなって固まり、鉄よりも固くなりました。

そのダイヤモンドが、地面の下から取り出されたときは、どんな姿か。もともと輝きがあるわけではなく、色々な道具を使って磨いて磨いて磨き続けていくうちに、輝いてくるのです。そして私は、子どもはダイヤモンド、つまり皆さんはダイヤモンドだと思います。この後ずっと、いろいろな場面で、子どもはダイヤモンド、と言い続けます。ですから皆さんは、つらいこと、大変なこと、いやなことがあっても、自分はダイヤモンドなんだ、がんばれば光るんだ、どんなことがあっても負けない強さがあるんだ、がんばればできるんだ、そう思ってどんなこともあきらめないでください。けっして自分はダメな人間だなんて思わないでください。今は、そんなことを言ったって、できないよ、そんなに強くないよ、と思っても構いません。しかし、信じられないかもしれませんが、皆さんにはその輝き、その強さを、もともと持っているのです。その輝く途中、その強くなる途中なのです。そう信じて、これからもがんばってほしいと思います。

これで、校長先生のお話を終わります。